

祭の企画・運営や作品の出版には、大変やりがいや生きがいを感じています」と語る2人の笑顔が印象的でした。



藤本さんご夫妻は、二人三脚でまちづくりに貢献しています。
(東桂地域)

三吉地域協働のまちづくり推進会

三吉地域では「地域に伝わってきたお神楽を、このまま廃れさせてはならない」という想いを持った方々が集まり、子どもへのお神楽の継承を復活させました。

三吉地域のお神楽は、60歳代の方々に最後に途絶えていました。三吉地域住民の志村さんは、お神楽の文化がここで途切れる危機感が、この活動の始まりだったと話します。この活動が始まったお陰で、再び文化が継承され始めました。

現在は、4月に予定されている愛宕神社のお祭りでの子ども神楽の披露を目指し、子どもと大人が一緒になって練習しています。休憩時間は子どもも大人も一緒になって楽しい時間を過ごしており、大人たちは子どもに囲まれて過ごすこの時間を楽しみにしているそうです。また、この練習がきっかけとなり、子どもに対して声かけやすくなり、近所の

つながりを感じるようになったとの声も出てきているそうです。「時には子どもを怒る必要も出てきます。気が引ける部分ではありますが、本気で子どもたちいろいろな事を伝えたいです」という志村さんの言葉からは、大人たちのこの活動への熱意が伝わってきました。



文化の継承は世代間交流の場となります。
(三吉地域)

谷村地域協働のまちづくり推進会

東京方面と富士山方面を結ぶ谷に位置する都留市は、自動車の交通量が非常に多いです。その中でも、国道139号と並んで交通量が多い道が、中央高速道路の側道です。谷村地域の羽根子地区では、ここを通って通学する子どもたちを交通事故の危険から守るため、地区を挙げてスクールガードの活動に取り組んでいます。

羽根子地区の花田さんは、この話が立ち上がるきっかけを作ったこともあり、使命感を感じながらこの活動に携わっています。活動には、自治会をはじめ地区部会、老人クラブなど地区内の多くの組織の有志が協力しています。有志が当

番制を組み、小学生の下校時間になると中央高速の側道に立ち、児童の下校を見守っています。活動が始まった5年前は、大勢の住民が登録していましたが、高齢化が進んで活動できる方も減り、現在は19人が活動しています。「自分のためにもなっています。これがあれば、気分が乗らなくても外に出て身体を動かすきっかけになります。ありがたいですよ」と、自分のためと笑いながら話す花田さんですが、その言葉の裏に「子どもたちの安全を守りたい。自分たちにできることはやりたい」という暖かい気持ちを感じました。



地区をあげてスクールガードに取り組んでいます。
(谷村地域)

開地地域協働のまちづくり推進会

手芸教室の始まりは、開地地域の地域協働のまちづくりの活動からでした。

「これまでの活動とは違った新しい活動を始めたい」「地域の人が元気になるようなものを始めたい」という想いから手芸教室の構想が出来上がり、中野さんを委員長に5人のメンバーが軸となって活動が始まりました。現在は、メンバーは13名に膨らみ、始めたころに比べると



より難しいものに挑戦しています。また、自分たちで作って終わりではなく、作品を通して地域の行事にも貢献しています。平成21年は、開地地域で開催された「歩け歩け大会」の景品として作品を提供するなど、やりがいや手ごたえを感じることができる活動を展開しています。

この教室は、無理をせず自分たちの力にあつた形で、楽しくやることを motto に活動しています。「年齢が離れた友だちもたくさんできて楽しいですよ。元気でいられます」と元気に語るメンバーの言葉から、楽しく活動している様子が伝わってきました。「楽しいから、いろいろな人に来てもらいたいです。ぜひ一緒にやりましょう」と教室の方々は口をそろえて言います。興味を持たれた方は、ぜひ参加してみたいかがでしようか。

協働イベントカレンダー

★2月25日(木)

谷村協働 夢実現ひろば

「室内レクを楽しもう」

時間 午後1時30分～3時30分

場所 文化会館1階

対象 65歳以上の方

手芸作品を歩け歩け大会の景品に提供しています。
(開地地域)